

柏市図書館のあり方策定 に関する進捗報告

平成30年10月24日

柏市教育委員会 生涯学習課

報告内容

1. あり方検討の前提としたこと
2. 検討の流れ
3. 参加者について
4. 市民への周知方法等
5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見

1. あり方検討の前提としたこと

- 長寿化, AI (人工知能) 等の技術革新
→ 生涯にわたる学びの必要性
- 人口減と税収減
→ 持続可能な運営の必要性
(行政として, 社会として)
- 図書館が注目すべき「柏らしさ」とは?
- 登録率2割弱。図書館離れが進んでいる

2. 検討の流れ

- ①未来の柏の図書館について語り合おう！（5回）
 - ・アクティブな市民の活動拠点での意見交換

- ②ダブルデッキ・ライブラリーフェス（2日間）
 - ・控え目な市民とのタッチポイント（接点）
 - ・図書館への関心喚起
 - ・あり方を検討していることの周知

- ③ワークショップ（中高生1回＋3回）
 - ・中高生が求める居場所とは？
 - ・まち歩き，ストーリーづくりを通した未来の図書館像の検討

3. 参加者について

①未来の柏の図書館について語り合おう！

第1回	パレット柏	23名 (12名)
第2回	Noblesse Oblige	7名 (5名)
第3回	手作り科学館Exedra	5名 (3名)
第4回	UDCK	16名 (9名)
第5回	高柳コミュニティカフェ茶論	8名 (5名)

※ () 内の人数は過去1年間に図書館を利用した参加者の数

②ダブルデッキ・ライブラリーフェス

- ・シールアンケート回答者 164名
- ・自由意見回答者 33名
- ・各種展示やブックトラックに興味を持った方、イベントへの参加者、多数

③中高生ワークショップ

中学生1名, 高校生5名

4. 市民への周知方法等

- 市ホームページ (アクセス 3,452件)
- Facebook (いいね 99件, リーチ 26,640件)
- Twitter (フォロワー 74人, インプレッション 137,012件)

※7月中旬から10/15までの実績

- 「かしわストーリー第1号」

34施設に配架

近隣センター23館, 本庁舎, 沼南庁舎, 図書館, アリオ柏, UDC2, 柏インフォメーションセンター, パレット柏, Noblesse Oblige, Exedra, UDCK, 高柳コミュニティカフェ「茶論」

5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見①

【パレット柏】

- ・ 色々な本が置いてあり，調べられる
- ・ 自分で買えない難しい本が読める
- ・ 地域の文化資源も扱う総合的機関へ
- ・ 本からだけでなく，人からも学ぶ

【Noblesse Oblige】

- ・ 蔵書の整理，取捨選択をすべき
- ・ 本が汚い，ただ本を並べているだけ
- ・ ちょっとした調べものは書店で間に合ってしまう
- ・ 世界中の情報とつながる場所
- ・ 誰でも本や情報を探ることができる。検索機能の充実

5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見②

- ・ 蔵書はたっぷり欲しい
- ・ 蔵書を手にとって確認できること
- ・ DVD, CD (視聴覚メディア) が充実していること
- ・ 郷土の歴史について一番詳しい場所
- ・ 蔵書数 (ジャンル) を増やしてほしい
- ・ 本館の蔵書が少ないと思うが, それが18カ所に分散してしまっている
- ・ 郷土資料へのアクセス。もっとデジタル化が進むとよい
- ・ 書架・棚を見やすくして欲しい
- ・ 展示スペース, 展示の仕方にわかりにくいところがある
- ・ たくさんの蔵書が一覧できることのワクワク感が感じられる図書館
- ・ 数が多いだけでなく, 質のいい蔵書があると人は集まる

5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見③

【手作り科学館Exedra】

- ・ 専門的なものも含めて、調べたいものが何でも一通りあること
- ・ 牧野富太郎の植物図鑑が見たいとき、学校図書館では足りないし、書店で立ち読みするわけにもいかない。このような図鑑類が公共図書館にあることを期待
- ・ ネットの情報だけでなく、その原典を調べらる場所
- ・ ネットの情報だけでは調べ学習を掘り下げていけない。書店で買えばかなりの金額となる。多様な本が一箇所であり、関係性を発見していけるのは物理的な空間を持つ図書館の特長
- ・ 網羅性と専門性が書店との違い。点の情報だけでなく、関係性の可視化が大切

5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見④

- ・ 小説は自分で買う。図書館に求めるのは調べ物の本。柏市の図書館にはそのような本が少ないので使っていない
- ・ 仕事で必要な本を探すために行くが、柏市の図書館では、そういった用途に利用できないので、使うことがない
- ・ 図書館には子どもを本に親しませるために行く
- ・ 調べ物よりも出会いを求めて図書館に行く。出会いの場としてある程度の本が揃っている必要がある
- ・ 出会いを求めているときは書店に行く。平積み、面陳、ポップ等によりなんとなく情報が入ってくる。図書館の児童書でもそういうコーナーがあると新しい作家さんと出会う場になる

5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見⑤

- ・ 漫画はあったほうがいい。漫画を排除する理由はない
- ・ 実用ではなく、趣味性を徹底する方法もある
- ・ 新しい図書館のビジョンと一緒に、新しい評価指標も確立して欲しい。そうでないと今まで同じような図書館になってしまう。貸出冊数ではなく、司書がアドバイスをした件数をより重視する等

【UDCK】

- ・ 調べものをする時に、参考図書が各分館に散らばっており、利用しづらい
- ・ 読みたい本（電子書籍や洋書も含む）がある図書館
- ・ きれいな本が置いてある図書館

5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見⑥

- ・ まちのアーカイブ資料としての図書館
- ・ 借りたい本がわからない
- ・ 調べ物をするときに、参考図書が各分館に散らばっており利用しづらい
- ・ 本屋で立ち読みのほうが便利。最新の本を見たいときは本屋に行ってしまう
- ・ 紙媒体は必要か。紙媒体以外も置く必要はないのか。
- ・ 専門書が少ない。仕事をしている人は専門書も読みたいと思う
- ・ 本の汚れが気になる。空間も含めて「清潔感」が必要
- ・ 本の分類が利用者目線ではない
- ・ マンガが読めると嬉しい

5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見⑦

- ・ 保育園，幼稚園，学校等と連携し，図書館に行かなくても学校で図書館の本が借りたり，返せたりできるとよい。遠くまで歩いていけない子どもたちが，自分の通う学校でさまざまな本を借りることができる。
 - ・ 他の図書館との連携の強化をして，多くの本と触れ合う機会が欲しい。
- 【高柳コミュニティカフェ「茶論」】
- ・ 学校その他でのPRが必要
 - ・ 地元の各学校の図書室と連帯できないか
 - ・ 学校と公共図書館の連携は重要
 - ・ 学校に仕掛ける
 - ・ 複本問題解決

5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見⑧

- ・ 予約の本がなかなか読めない
- ・ 流通の問題
- ・ 映像・CD・メディアの充実
- ・ 地域資料の充実
- ・ 子どもたちの将来の生活（仕事）を考えられる
- ・ 子どもの居場所
- ・ 図書館に欲しい本がない。専門書がない
- ・ 図書館で資料を探そうと思わない
- ・ 本が探しづらい。並べ方が複雑
- ・ 必要な情報はネットで拾える。自分で検索できる
- ・ 分館が図書館ではなく書庫になっている

5. 「未来の柏の図書館について語り合おう！」での「蔵書」と「学校連携」に関連する意見⑨

- ・ 本を寄贈したい
- ・ 航空写真は残して欲しい
- ・ 個人で集められない資料を集めて欲しい